保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDラジオ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RCR-869Z	品　番	07-3869	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前　　様			
	★ご住所　〒　　ー 電話　　( )			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

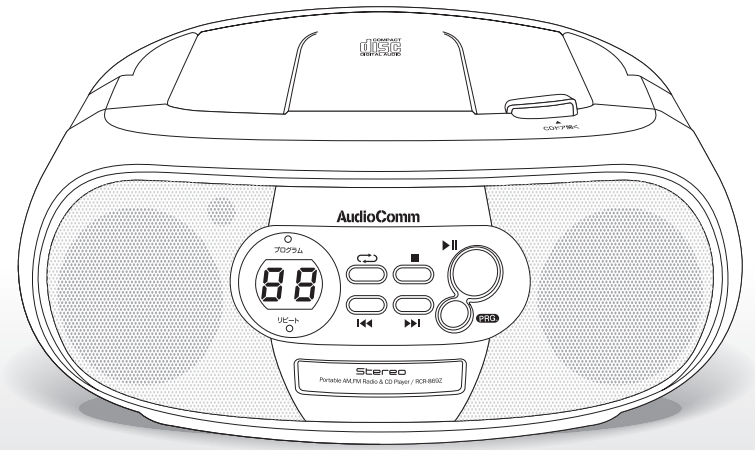
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-3869A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

ポータブルCDラジオ
型番：RCR-869Z　品番：07-3869



このたびは、AudioComm®ポータブルCDラジオをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目 次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1〜3
ご使用になる前に(CDについて) …… 4
電源について …… 5
各部の名称…… 6
ラジオを聴く …… 7
CDの音楽を聴く …… 8〜10
外部機器の音楽を聴く …… 11
ヘッドホンで聴くときは …… 11
故障かなと思ったら …… 12
お手入れのしかた …… 12
主な仕様…… 13
保証書とアフターサービスについて …… 13
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠ 警告

 コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	**本製品を使用するときは必ず付属の電源コード(ACコード)を使う。 また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しない** ●付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
 コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	 禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。	 修理を依頼	**電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
 禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない**	 禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずアダプター本体を持って抜いてください。

コンセントから抜く

お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く
●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

極性に注意

乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池は使わない
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

禁止

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

コンセントから抜く

旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。

音量は小さく

音量を抑える。大音量にしない
●周囲の迷惑になります。
●大きな音で聴き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。

注意

乳幼児や子供に触れさせない
●お子様がCDドアに手を入れないようにご注意ください。指を挟んだりして、けがの原因となることがあります。

掃除をする

電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する
●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告
・火中への投入、加熱、分解をしない
・ショートさせない

⚠注意
・⊕⊖の表示通りに入れる
・指定以外の乾電池を入れない
・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
・使い切った乾電池はすぐに取り出す
・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

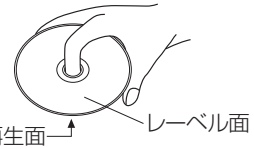
ご使用になる前に(CDについて)

結露について

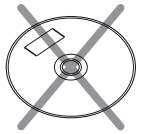
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

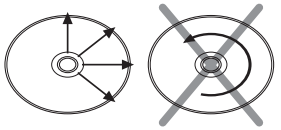
◆再生面に触れないように持ってください。



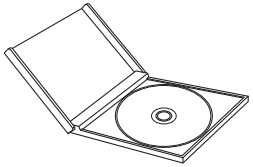
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



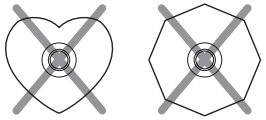
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



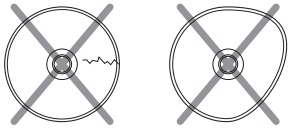
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに
COMPACT disc DIGITAL AUDIO　CD SINGLE
のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・CD-R／RWの文字情報(CD-TEXT)は「半角英数(1バイト文字)」に統一してください。
・VCD(ビデオCD)は再生できません。
・MP3ファイルを収録したディスクは再生できません。

◆DualDisc(DVD規格に準拠した面とデジタルオーディオ情報を記録した音楽専用面を持つディスク)は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本機では再生できない場合があります。

電源について

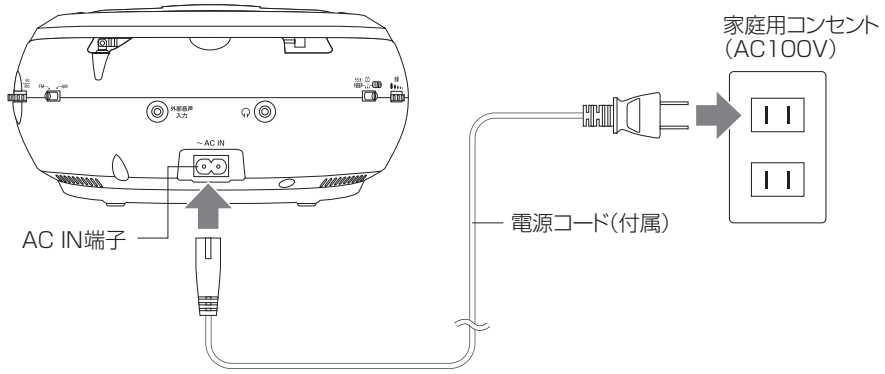
電源プラグを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。

電源を入れる前に音量ツマミを回して音量を絞ってください。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC IN端子と家庭用コンセントを接続します。
◆乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
◆本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから外してください。

後面



ご注意 付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池で使う場合

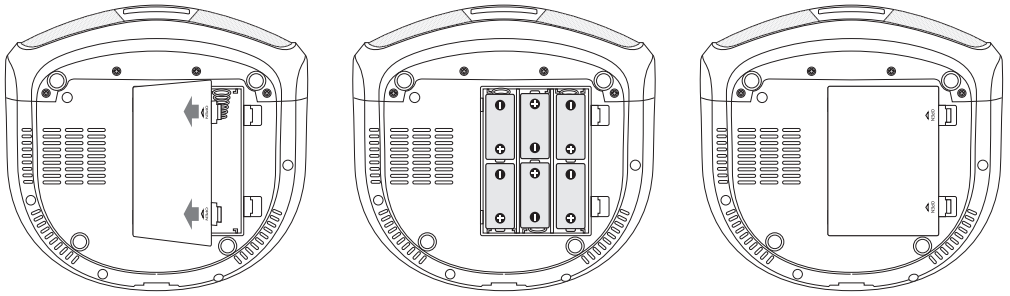
アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

❶ 底面にある電池カバーのツメを外して開けます。

❷ 乾電池の向きに注意しながら図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。

❸ 入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。

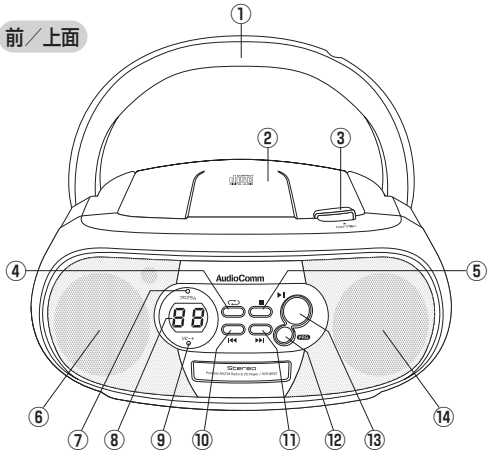
底面



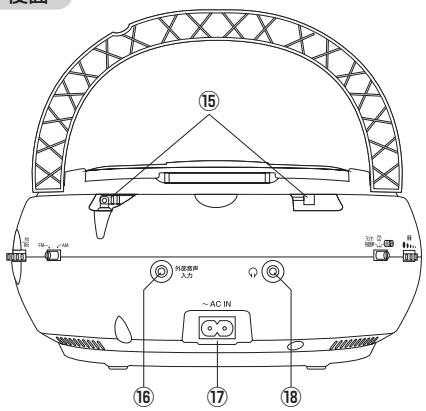
単2形乾電池6本使用(別売)

各部の名称

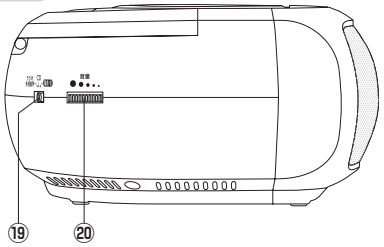
前／上面



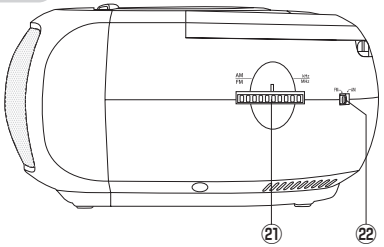
後面



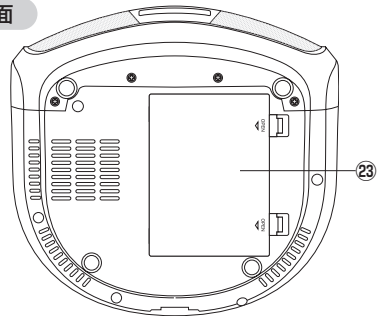
左側面



右側面



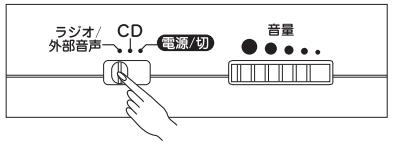
底面



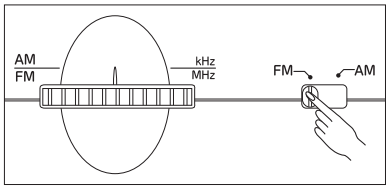
①ハンドル
②CDドア
③CDドア開閉ツマミ
④リピートボタン
⑤停止ボタン
⑥左スピーカー
⑦プログラムランプ
⑧ディスプレイ
⑨リピートランプ
⑩スキップボタン(⏮)
⑪スキップボタン(⏭)
⑫プログラムボタン
⑬再生／一時停止ボタン
⑭右スピーカー
⑮FMロッドアンテナ
⑯外部音声入力端子
⑰AC IN端子
⑱ヘッドホン端子
⑲電源／ファンクション切換スイッチ
⑳音量ツマミ
㉑選局ツマミ
㉒バンド切換スイッチ
㉓電池カバー

ラジオを聴く

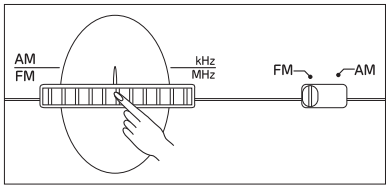
1 電源／ファンクション切換スイッチを「ラジオ／外部音声」に合わせます。
外部音声入力端子にプラグが差し込まれていないことをお確かめください。外部音声入力端子を使用中は、ラジオの受信はできません。



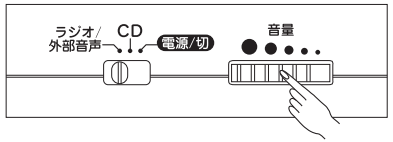
2 バンド切換スイッチで「AM」または「FM」を選びます。



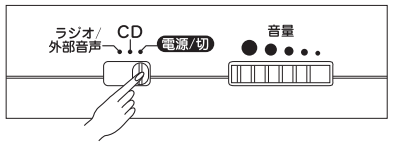
3 選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局に合わせます。



4 音量ツマミを回して音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。



5 終了するときは電源／ファンクション切換スイッチを「電源／切」に合わせます。

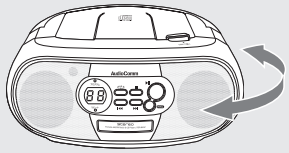


ヒント **受信状態をよくするには**

一般に窓際のほうがより良くラジオを受信できます。

●AM放送の受信

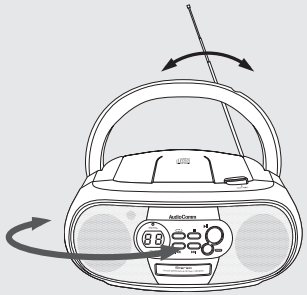
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●FM放送の受信

ハンドルを持ち上げた後、FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

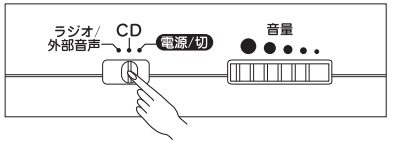


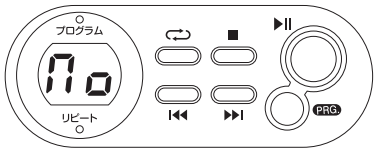
ご注意

持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、ロッドアンテナを縮めた状態にしてください。

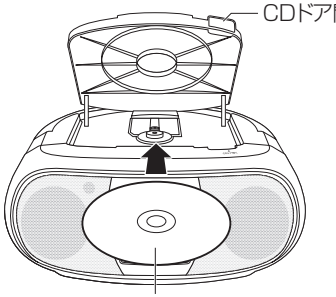
CDの音楽を聴く

1 電源／ファンクション切換スイッチを「CD」に合わせます。
ディスプレイに「ーー」が点滅し、ディスクが入っていないときは「no」が表示されます。

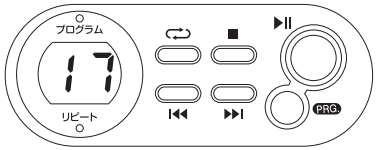




2 CDドア開閉ツマミを持ち上げてCDドアを開け、ディスクを正しく装着します。
レーベル面（タイトルなどが印刷してある面）を上にしてセットします。セットし終えたら、CDドアを手で閉めてください。CDドアを閉めるとディスクが回転し、総曲数が表示されます。



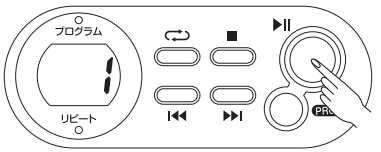
レーベル面（タイトルなどが印刷してある面）を手前にしてセットします。



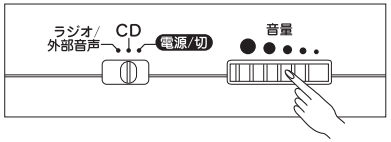
ご注意

CDドアの開閉はゆっくり丁寧に行なってください。力を入れ過ぎると故障の原因になります。

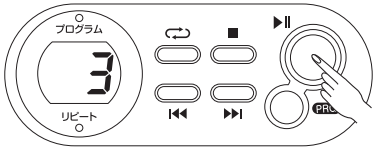
3 再生／一時停止ボタンを押すと、再生が始まります。
再生中は曲番号が表示されます。



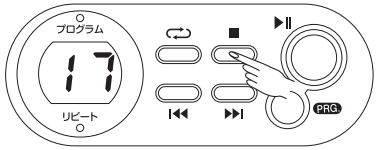
4 音量ツマミを回して音量を調節します。
音量の上げすぎにご注意ください。



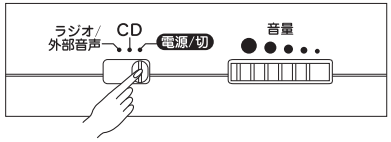
5 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。
もう一度再生／一時停止ボタンを押すと、再生を再開します。



6 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。
総曲数表示に戻ります。



7 終了するときは電源／ファンクション切換スイッチを「電源／切」に合わせます。
使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。



次ページに続く

ヒント　スキップボタン（⏮／⏭）について

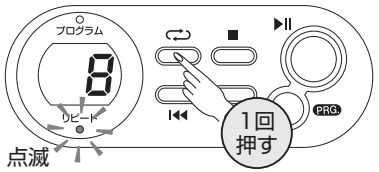
停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
⏮	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに順次前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。
⏭	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。

※再生中に長押しすると、断片的に再生音が流れますので、お好みのところで指を離してください。

リピート再生

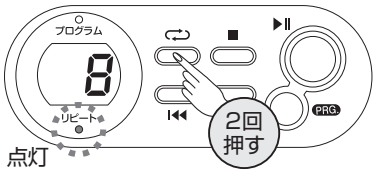
1曲リピート再生



CD再生中にリピートボタンを1回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します。

- 1曲リピート再生時はリピートランプが点滅します。
- 停止中または一時停止中にリピートボタンを1回押した場合は、再生／一時停止ボタンを押すことで1曲リピート再生が始まります。

全曲リピート再生



CD再生中にリピートボタンを2回押すと、CD内の全曲を繰り返し再生します。

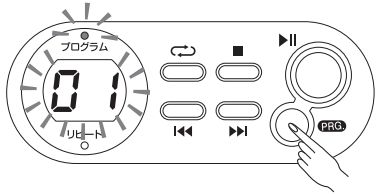
- 全曲リピート再生時はリピートランプが点灯します。
- 停止中または一時停止中にリピートボタンを2回押した場合は、再生／一時停止ボタンを押すことで全曲リピート再生が始まります。

- リピート再生を解除するには、リピートランプが消えるまで、リピートボタンを1回、または2回押してください。
- 停止ボタンを2回続けて押したときや、停止後にCDドアを開けたとき、他のファンクションに移行したときも解除されます。

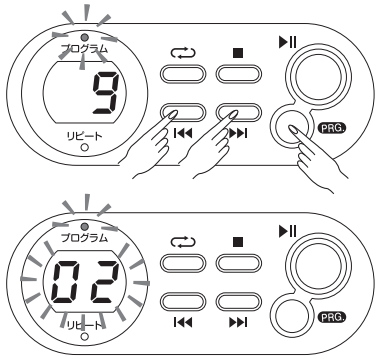
プログラム再生　登録は再生停止時に行なってください。

本機では、最大20曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。

1 再生停止中にプログラムボタンを押します。
「01（プログラム番号）」とプログラムランプが点滅します。

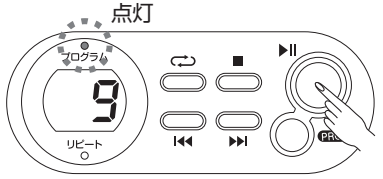


2 スキップボタン（⏮／⏭）を押して、登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。
1曲目の登録が終わると「02」へと表示が変わり、2番目に登録したい曲を選べるようになります。



3 登録したい曲順で、ステップ2の操作を繰り返します。

4 登録がすべて終わったら、再生／一時停止ボタンを押します=プログラム再生開始
プログラム再生中はプログラムランプが点灯します。



ヒントとご注意

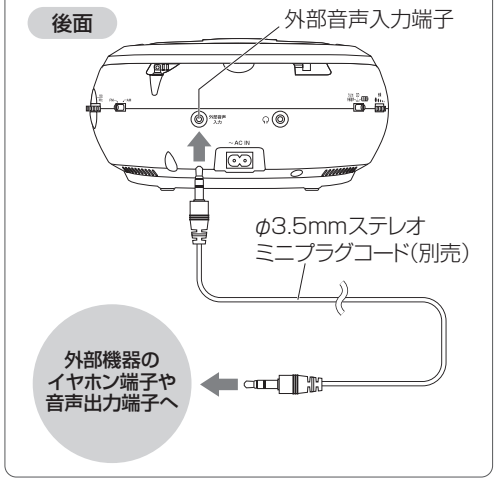
- 何も操作しない時間が約28秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。その際はもう一度最初からやり直してください。
- 以下の場合、プログラム内容が破棄されます。
  - ・プログラム再生時に停止ボタンを2回続けて押したとき
  - ・CDドアを開けたとき
  - ・他のファンクションに移行したとき
  - ・電源を切ったとき
- プログラム再生と全曲リピートを併用すると、プログラムした曲順でリピート再生できます。
- プログラム登録中にプログラムボタンを2回続けて押すと、それまでに登録した曲番号が順に表示されます（曲順表示が終わると「01」の点滅になります）。
- プログラムを修正したい場合は、上記「01」点滅中にプログラムボタンを数回押して修正するプログラム番号を表示させ、その後、スキップボタン（⏮／⏭）で新しい曲番号を選び、プログラムボタンを押してください（プログラム再生中の場合は、停止ボタンを1回だけ押した後、同様の操作を行なってください）。

外部機器の音楽を聴く

携帯音楽プレーヤーやMDプレーヤーなどと接続して、外部機器の音楽を本機で楽しむことができます。

本機と外部機器の接続方法

接続は本機および外部機器の電源が切れた状態で行なってください。



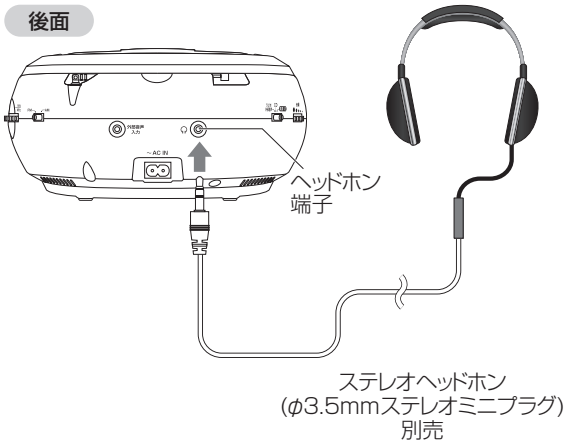
❶ 左図を参照して正しく接続した後、電源／ファンクション切換スイッチを「ラジオ／外部音声」に合わせます。
外部機器の電源も入れてください。

❷ 外部機器側で再生などの操作をします。
本機の音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

❸ 終了するときは電源／ファンクション切換スイッチを「電源／切」に合わせます。
本機及び外部機器側の電源を切った後に接続を解除してください。

ヘッドホンで聴くときは

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を後面のヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。



故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●乾電池が正しく装着されていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●電源コードが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。 ●電源／ファンクション切換スイッチが「電源／切」のままではありませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
CDが再生できない 音がとぶ	●電源／ファンクション切換スイッチが「CD」の位置に正しく合わせられていますか。 ●CDが正しく装着されていますか。 ●一時停止状態ではありませんか。 ●CDは本機規格に適した仕様のものですか。 ●CD内のファイルは本機での再生に適した形式ですか。 ●データが破損していませんか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか。 ●傾斜した場所や振動のある場所に本機を置いていませんか。
ラジオが 受信できない 雑音が入る	●電源／ファンクション切換スイッチが「ラジオ／外部音声」の位置に正しく合わせられていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●外部音声入力端子にプラグが接続されていませんか(外部音声入力端子使用中はラジオの受信はできません)。 ●電波の弱いエリアであったり、近くにノイズを発する機器などがありませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか(本機から携帯電話を離してご使用ください)。 ●蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。本機を離してご使用ください。
ラジオは聴けるがCDの再生ができない	●乾電池が消耗していませんか。新しい乾電池と交換してください(乾電池使用時)。

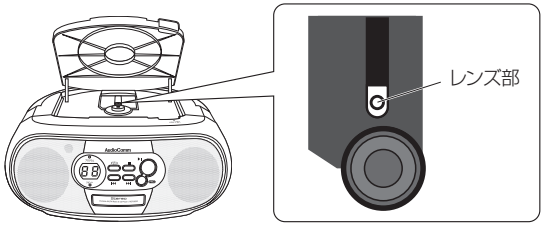
お手入れのしかた

※お手入れの前にあらかじめ電源コードや乾電池を外し、電源が入らないようにしておいてください。

●本体のクリーニング
表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング
レンズの汚れは音とびなど正常な再生ができなくなる原因となります。CDドアを開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー(エアスプレー)でクリーニングしてください。
※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。



主な仕様

電　　源	AC100V　50／60Hz
	DC9V（単2形乾電池×6本／別売）
消費電力	15W
実用最大出力	1.1W+1.1W
受信周波数	FM：76.0 ～ 108.0MHz（ロッドアンテナ）
	AM：530 ～ 1600kHz（内蔵フェライトバーアンテナ）
スピーカー	口径60mm×2（インピーダンス：8Ω）
端　　子	φ3.5mmステレオヘッドホン出力端子
	φ3.5mmステレオ外部音声入力端子
乾電池での連続使用可能時間の目安※	スピーカー出力時／ AMラジオ：約70時間　FMラジオ：約68時間　CD：約16時間
	ヘッドホン使用時／ AMラジオ：約74時間　FMラジオ：約72時間　CD：約18時間
外形寸法	幅243×高さ116×奥行232mm　（突起物含まず）
質　　量	約1350g（乾電池含まず）
付 属 品	電源コード、取扱説明書（保証書）

※新品のアルカリ乾電池を使用した場合の目安（音量中程度）。周囲の温度や使用状況、乾電池の種類により、異なります。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。